

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和4年4月15日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4676100235
法人名	社会福祉法人 豊生会
事業所名	グループホーム 隼人
所在地	鹿児島県霧島市隼人町松永3630番地3 (電話) 0995-64-2520
自己評価作成日	令和4年3月19日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和4年4月9日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グループホーム隼人は今年の8月で20年目を迎えます。これからも新たな気持ちで頑張っていきます。これも全てご理解・ご協力頂けてるご家族様と元気なご利用者様と日々ご利用者様の為に頑張ってくれてる職員のおかげだと思っております。毎日入れる温泉がありますが現在は掘りなおし中です。期間は未定ですが温泉を掘り終えたらまた毎日かけ流しの温泉の提供になります。緑豊かな自然に囲まれてご利用者様、日々ゆっくり過ごされています。近所にはお花を植えてらっしゃる所もあり、いろいろなお花や野菜があるので散歩にてよらせてもらっています。活動に限りがありますので食事にはもっと力を入れ、美味しい食事や各々の旨好品の提供で喜んでいただいております。新型コロナウイルスの影響にて地域密着型としての地域との関りがほとんどなくなってしまいご家族を交えての家族会や地域の方を交えての地域交流会等が開催できていない為そこが一番悩んでいるところです。一刻も早く新型コロナウイルスが収束してくれることを願っています。新型コロナウイルスが収束したらまた地域の方々との関りに力をいれ、「地域住民の相談窓口として、介護、なんでも相談所」としてもまた頑張りたいと思っております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は母体が特別養護老人ホームであり、ケアハウス・養護老人ホーム・住宅型有料老人ホーム・訪問介護・居宅介護支援事業所・高齢者給食宅配サービス・保育園等、数多くの関連福祉事業を展開する地元根差した総合福祉施設のグループホームである。
- ・協力医療機関の定期的訪問診療や必要時の往診訪問看護との連携があり、緊急時の24時間医療連携体制が構築している。
- ・地域との交流を大切にしている。地域行事にも参加しているが、コロナ禍で自粛している。終息後は再開して地域に密着した福祉の発信源となるように活動していくことを検討している。
- ・管理者・職員のコミュニケーションがよく、意見や提案は会議で話し合い、運営に活かし、個々の相談も随時受けている。研修や資格取得に支援があり、職員の労働環境の向上にも力を入れている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念の張り出しはリビングの職員が見えやすい場所にあるが1人1人があまり把握できていない様に感じる	理念はリビングに掲示し、パンフレットにも掲載している。申し送り時に理念を唱和している。内部研修や各ユニット会議で振り返りを行い、理念に沿った実践に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	新型コロナウイルスの影響により感染症対策としてご利用者様と地域の方との関りがなく交流が今現在ほとんど出来ておりません	例年は地域の行事や会合に参加したり、知人の面会や野菜の差し入れなどの交流があったが、コロナ禍で自粛している。状況を見てボランティアを受け入れている。街角相談所を設置して地域住民の相談等を受けている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	新型コロナウイルスの影響により感染症対策としてご利用者様と地域の方との関り交流が今現在ほとんど出来ておりません		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	新型コロナウイルスの影響により感染症対策としてご利用者様と地域の方との関りがほとんどなく交流が今現在ほとんど出来ておりません	2ヶ月毎に開催している。コロナ禍のため、市の了解を得て書面会議としている。現状報告や課題等を運営推進会議資料として意見書も添えて関係者へ持参し、書面や電話で意見を聞いている。コロナウイルスに関する意見が多く、出された意見は運営に反映している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。</p>	<p>新型コロナウイルスの影響にて運営推進会議が開催出来ていない為電話にて報告、連絡等スムーズに行えている</p>	<p>運営推進会議の資料やその他の提出する書類を窓口を持参し、電話でも感染症や生活保護者の処遇等を相談したり、意見をもらい協力関係ができています。研修はリモートで参加しています。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束をしないケアに取り組んでいることは職員に周知徹底している</p>	<p>身体拘束廃止委員会を中心に、法人ではオンラインで、事業所では毎月研修会を開催している。動画による講座を活用し、拘束の具体的な行為を認識し、言葉の拘束も含めて拘束のないケアに取り組んでいる。日中は玄関の施錠はしていない。外出希望者は、一緒に周辺の散歩に出かけたり、ドライブをして気分転換している。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>2カ月に1回メンバーでミーティングを行いその際に勉強会や職員同士の意見交換をしている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	2カ月に1回ミーティングを行いその際に勉強会を行っている		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	契約の締結、解約又は改善等の説明対応は管理者が行っている、文章を読みながら丁寧に説明するようにしている		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	相談箱を玄関に設置しており直接話さずらいことを相談できる体制を取っている	利用者からは日常の会話の中で思いを聞いている。家族からは、毎月の便りで写真を添付し生活状況を報告し、面会時や電話・手紙・ラインで意見を聞き、意見箱も設置し運営に反映している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>月1回のミーティングやLINEのグループを作っており意見や提案を行えるようにしている</p>	<p>日常のケアの中やライングループでの意見交換・ユニット会議・職員会議で意見が出されている。個々人の相談には随時管理者が受けている。ケアに関することや研修参加への支援・有給休暇取得について・個人的相談にも対応し、職場環境の向上を図っている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>年2回人事考課と自己評価を行っており希望休、有休、就業時間などは業務に支障がない限りは対応している</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>経験年齢や得手不得手に応じて必要な外部研修を受ける機会がある（法人が研修を動画にて受けられるようにメディパスアカデミーという動画サイトを提供している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>コロナの影響で研修などによる交流は行えていないがライフサポートワーカーを通じての交流は行えている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	生活歴や入居に至るまでの経緯など把握したうえで思いに寄り添いながら職員同士共有し関係づくりに努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の話を傾聴して、思いや不安などをを受け止め関係づくりに努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居にあたり、環境の変化による不安や不憫さを考慮し可能な限り事業所で以降に添えるサービスを行い、難しい場合は家族を交え対応できるサービスを検討する		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人主体に努め、ご自分でできることはしていただき入居者様と同じ目線で気遣い尊重しながら関わるようにしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	月初めに1回ご家族へお手紙を出している。事業所の各ユニットの携帯で連絡をとれるようにしており関係づくりに努めている。希望があればビデオ通話等も行っている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの美容室などがあればご家族と段取りを決め出かける機会を作ったりしている	契約時に馴染みの情報を把握している。コロナ感染防止の為に、墓参りや買い物・一時帰宅・外出等を自粛している。墓参りの希望者は職員が同行し、帰りに馴染みの場所へドライブしている。面会やビデオ通話、手紙や電話での交流で馴染みの関係継続の支援に務めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	個々の性格を把握し、利用者同士トラブルになる可能性がある方は席を離したりスタッフが間に入れるように交流している		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後などは時折連絡行い相談に関われるように努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の希望や意向は傾聴しながら把握に努めている。	本人との日々の会話の中から意向を把握し、困難な人は表情や動きやしぐさで推し量り、家族の情報も得て何に興味があるかや思いを職員が記録し、本人の意向に沿って支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時の情報以外に後から得られた情報があれば記録や職員同士での共有に努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の記録、申し送り、報告により全職員でその日の変化の把握に努めている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	新型コロナウイルスの影響にて直接お会いしてのやり取りができず、本人、家族、職員、医師の意見を踏まえ、お電話にて現在のケア会議を行い介護計画を計画している	本人や家族の思いを聞き、主治医の意見や職員の意見を総合して、担当者会議を開催し、介護計画を作成している。2ヶ月毎のモニタリングや3ヶ月毎の見直しを行って、担当者会議につなげている。ケアプランは家族へ送付して確認をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の入居者様のケース記録は詳細に残している		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	1人1人に必要なニーズで今までにない事であれば、ご本人や家族と相談しながら、事業所で可能な限り対応している		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	1人1人の暮らし方で地域資源を把握して支援することは実施できずにいるが面会に来られる友人や知人、親戚は把握している		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご家族の希望を伺い特にない場合は地域のかかりつけの内科にお願いしており月1回往診も来ていただいている	本人や家族の希望するかかりつけ医であり、主治医による月2回の訪問診療や必要時の訪問歯科や訪問看護も実施している。他科受診は職員が同行し、ホームの看護師も複数おり、協力医療機関との緊急時の24時間医療連携体制を構築し、適切な医療を受けている。結果は家族へ報告している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>看護師は1名配置されており、24時間電話連絡可能な体制を取っている</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院できる医院として1つの病院に協力医療機関をお願いしている</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>終末期の在り方については入居契約説明時に事業所で医療措置はできない旨を説明し医療措置が必要になったら入院もしくは対応できる施設を検討していただくことを丁寧に説明している</p>	<p>契約時に「重度化や終末期に向けた方針」を説明し、ホームでの医療措置はできない事を伝え「事前意思確認書」に同意書もらっている。マニュアルを基に定期的に意思を再確認し、重度化した時点で、主治医が家族に病状を説明し、家族の意向を確認しながら、希望に沿って支援に取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>定期的に勉強会やAEDの訓練を行っており急変時はマニュアルを作成し備えている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年に2回日中と夜間を想定した訓練を行っている。地震想定災害模擬訓練も実施している。</p>	<p>災害時対応マニュアルを基に年2回実施し、1回は消防署の立ち合いがあり、昼夜を想定して実施し、1回は自主訓練をしている。地震災害訓練も実施している。連絡網は地域住民も入っている。コロナ禍の為、3ユニット合同で事業所だけで実施している。避難場所は駐車場である。火災通報装置、スプリンクラー、避難用滑り台があり、備蓄は水、米、パン、缶詰等、備品は介護用品、ラジオ、懐中電灯、発電機(レンタルで契約)がある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>言葉かけで指示的な対応になることがあるためミーティングのときや職員同士声掛けを行い気付きを得る機会を作っている</p>	<p>マニュアルを基に、月1回のミーティングで勉強会を行っている。人権擁護や接遇についての勉強会を2ヶ月毎にしている。利用者の人格や誇りを傷つけない講座を、全職員が学び振り返りを行っている。入浴・排泄・入室時のノックや言葉かけに配慮し、呼称はさん付である。申し送りはカウンターの中で実施している。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>思い通りに言葉が出ない方などは筆談をしたりyes no で答えらるような工夫をしている</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>入居者様の意向に沿わないことや、別に希望があった場合は臨機応変に対応し、その日できないことは日程調整し支援している</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>入浴の際や外出の際は職員と一緒に服を選んでいただいている (今現在は外出ができておりません)</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	季節の食材を使ったり、何が食べたいかお聞きし献立に取り入れている	嗜好調査を行い、食形態や疾病の為の制限を考慮して旬の食材を使って調理師の職員が行っている。行事食のおせちや敬老会、そうめん流し、クリスマス、餅つき、誕生会のケーキづくり、おやつづくり等、利用者と一緒にしている。利用者は台ふきや片づけ等の手伝いをしている。東屋での食事会も楽しんでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	1日の水分や摂取量、体重、採血結果で主治医や看護師と栄養バランスを検討している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを促している。難しい方には介助を行ったりスポンジブラシでの対応もしている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	身体機能に応じてオムツの使用を検討している。2～3時間事に声掛け誘導を行うようにしている	排泄チェック表により、個々人のパターンを把握し、声掛けや誘導している。基本はトイレでの排泄である。利用者の状態に応じて排泄用品を調整し、水分や運動量にも配慮している。おむつからリハビリパンツに改善した事例が多数ある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘気味の方などはミーティングや主治医の先生が往診にいられた際話をし調整するようにしている		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴は曜日を決めて希望があれば要望に沿った曜日や異性の変更など臨機応変に対応している	入浴は週3回を基本としているが本人の希望に応じて温泉浴の為いつでも入れるようにしている。同性介助の希望者にも対応している。シャワー浴も希望に応じている。拒否のある場合は、タイミングを考えたり、時間をずらしたりしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	室温の調整を行ったりフロア内に数メートルごとに椅子などを設置している・		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬の内容をしっかりと把握したうえで支援している職員は限られているためお薬情報は都度確認できるファイルを使用している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	無理にならない範囲で午前と午後でレクレーションを行い希望があればそれに添った内容を実施している		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	コロナの影響で外に出られる機会が少ないため移動販売に来ていただき施設内で買い物を楽しめる取り組みをしている	日常的に園庭や近隣の散歩をしているが、コロナ禍の為、イベント見物や外出は自粛している。近くにある事業所の菜園へ出かけて野菜を植えたり、収穫したりして気分転換を図っている。個々の希望により受診後にドライブで車中よりや菜の花・桜・つつじ・コスモスの花見物したり、毎週月曜日に移動販売車を受け入れて買い物レクリエーションを楽しんでいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	移動販売が来られた際に使っていいお金をご家族と相談しその際はご本人に買い物をしていただいている		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	月一度の手紙のやり取り以外に各ユニットに携帯を準備してビデオ通話等もしており、気軽に交流できる取り組みをしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の花を置いたり色塗り等やレクリエーションで作られた作品などを貼りだしたりしている。	ホールは明るくて広く、温度・湿度・換気に気を付け空気清浄機や加湿器があり、穏やかな雰囲気である。テーブルやテレビがあり花や作品を飾り、畳スペースもあり、それぞれ好きな場所で寛いでいる。園庭の東屋で天気の良い日には外気浴を楽しんでいる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テーブルの位置など配慮して自分のお気に入りの場所で過ごしていただいている		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	以前の部屋で使っておられたものなどは入居の際に必要であれば持ってきていただき落ち着いた居室づくりに努めている	居室はベッド、エアコン、タンス等の設置があり、腰高窓で外が眺められる。テレビ・寝具・仏壇・家族の写真・楽器・小物等を持ち込み、居心地よく生活できるように工夫している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	何の部屋かなどすぐわかるように扉に大きく文字を貼ったり、数メートル置きに休憩できる椅子を置いたりし対応している		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		○	4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
		○	4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない